

様式1(主な取組)

活動指標名	協議会の設置・海洋人材の育成・研究プロジェクト等の事業化支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
		人材育成・啓発活動に係るイベント等を実施	人材育成・啓発活動に係るイベント等を実施	人材育成・啓発活動に係るイベント等を実施	人材育成・啓発活動に係るイベント等を実施	事業参画への可能性の高い民間事業者等の整理	事業参画への可能性の高い民間事業者等の整理	100.0%	6,020	順調
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
								海底熱水鉱床の開発に関して、調査・研究を行っている国等の関係機関へヒアリングを行って情報収集をするとともに、事業参画への可能性の高い民間事業者等の抽出を行った。		
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 国や関係機関と情報共有を深めていく。 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、海洋資源に関する県民の関心を高めるようなイベントを実施するなど、海洋資源産業に携わる人材の育成を行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 国や関係機関との意見交換を通じて、海底熱水鉱床の開発動向等について情報共有を深めた。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を踏まえ、海洋資源に関するイベントの開催を控えた。 				

様式1(主な取組)



3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 国の調査結果等を踏まえ、将来の産業化に向けて国や関係機関と連携して取り組んでいく必要がある。
- ・ 海洋資源調査・開発の支援拠点形成に向け、民間事業者等の参画を促す必要がある。

○外部環境の変化

- ・ 第4期海洋基本計画の策定に向けた検討が進められている。
- ・ 海底熱水鉱床に関する国の報告書では、産業化に向けた課題はあるものの、引き続き調査・検討を行うこととしている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 引き続き、国や関係機関等との連携・情報共有を深めていく必要がある。
- ・ 民間等の事業参画に向けた方向性が必要となる。



4 取組の改善案 (Action)

- ・ 国や関係機関と情報共有を深めていく。
- ・ 海底熱水鉱床に関して、民間事業者等の参加に向けた課題や条件を整理する必要がある。